

令和5年2月10日  
岐阜県立大垣工業高等学校長

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 令和4年度 岐阜県立大垣工業高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和5年2月8日(水) 13:00~14:55
- 3 開催場所 協議会会場 大垣工業高等学校 本館1階 会議室  
課題研究発表会参観 体育館 2階 アリーナ
- 4 参加者 会長 小塚 生開 共立紡機株式会社 代表取締役 (欠席)  
副会長 萩永 秀樹 育友会会長  
委員 長瀬 ちえ子 大垣夢ある女性の会 事務部長  
浅野 康博 イビデン株式会社 経営企画本部人事部長 (欠席)  
宮下 友紀子 育友会3年学年代表  
多賀 英昭 太平洋工業株式会社 品質保証部  
片桐 実智 地域代表 (欠席)  
大石 玉穂 (財)岐阜県立大垣工業高等学校同窓会事務局
- 学校側 桐山 明宏 校長  
土田 公成 副校長  
樋口 高広 教頭  
田邊 勝敏 教頭  
川畑 茂 教務主任  
木村 章太 生徒指導主事  
服部 明広 進路指導主事

5 会議の概要(協議事項)

(1) 令和4年度課題研究発表会およびその取り組みについて

下記4テーマの発表を視察

- ・機械工学科 ソーラーパネルを用いた移動発電所の製作
- ・電子機械工学科 エコランカーの製作
- ・建築工学科 「あずま屋」屋根の施工
- ・化学技術工学科 電子顕微鏡の世界

意見1: 専門的なことを、大変分かりやすく発表させていた。

意見2: 目的を持って入学し、好きなことを学ぶことの大切さを感じた。

- 意見3：電子顕微鏡の世界は、普段見られないものを見せていただき興味深かった。
- 意見4：社会に出た時のことを考えると、他分野について興味を持つ良い機会となったと思う。
- 意見5：新しい課題を立てることも、先輩の達成できなかったことを課題とするのも、いずれも大きな達成感を得るきっかけになると思う。
- 意見6：18歳の高校生がここまでのことができるということに感動した。普通科にはない学びが工業科にはある。
- 意見7：研究を通して、壁にぶつかることや乗り越えてくるプロセスの体験が重要なポイントであり、社会人になる身として良い経験となっている。
- 意見8：テーマ設定（「なぜ？」）に時間をかけることで、より研究に深みが生まれると思う。
- 意見9：社会に出た時のことを考えると、対面でのプレゼンの形式で課題研究発表会を継続していただきたい。
- 意見10：対面で行うことで、生徒の大きな成長につながると思う。
- 意見11：限られた時間で何を伝えるかを考え、発表していることも貴重な経験となる。
- 意見12：自分たちで進めることが原則だが、先生方や他者に助けを求めて一つのことを成し遂げていくことも、大きな財産となると感じた。  
⇒次年度の運営に生かしていく。

## (2) 学校の現状と課題について

- ・全日制 教務部関係
- ・全日制 生徒指導関係
- ・全日制 進路指導部関係
- ・定時制 現状と課題について

- 意見1：コロナ禍で対面での行事ができず、「人と対する」ことの苦手な部分が社会に出る時にとても問題となる。学校の中で何とか伸ばせるように計画を立てて欲しい。
- 意見2：先生、部活動での仲間や先輩との関わりを極力持たせられると良い。
- 意見3：自らの発信と、発信内容を聞く態度を育てること、また聞いた事に対する思いを返信できる生徒を育ててほしい。
- 意見4：体調不良など長期休みの生徒に対するアクションの確認。  
⇒ 健康チェックカードを利用し県の示す自宅待機の内容については、担任、養護教諭などから確認の連絡を入れコロナ感染の拡大を防いでいる。
- 意見5：1年生の不登校者の増加について、不登校になるとなかなか登校できないものか。  
⇒ 家庭への連絡や訪問を通し状況を把握。状況に応じてスクールカウンセラーの利用を進めている。すぐに改善されないケースも多い。連絡を密にすることが逆効果となる事もあるため、個々合わせて対応している。また段階をふまえ教室に迎えるよう対応。
- 意見6：対面での会話減、文字を使ったコミュニケーションで、直接的な会話が減っている。略語を多用した会話など、正しい言葉を使った話し方から離れている生徒も多い。スマホを使い解決できる世の中ではあるが、対面で会話をする機会を多くつくる必要がある。  
⇒ 授業は対面で実施し、教科活動で話をする機会を増やしている。コロナに関する制約状況も変化してくるので、その情勢に合わせて多くの場を設けていく。
- 意見7：わからない事は聞き、教えてもらうことは基礎的で一番必要なスキルである。学びの面も大切であるが、実業高校として社会性、コミュニケーション力を重視してほしい。  
⇒ 話す力だけでなく、聞くことも大切である。また、話す力はあっても緊張する場面で話せないケースが多いことから、様々な機会を与えて育てていく。
- 意見8：生徒にわかったかを尋ねるだけでなく、復唱させることも効果的である。

意見9：生徒会組織など、生徒たちが活躍できる場を作ると良い。生徒がやらされているという考えでなく、自分たちが提案や進めているといった状況があると良い。  
⇒ 今後、制服などの校則改訂について、生徒会での検討の場や変更に関する会議などに加わるなど活躍の場を与える予定である。

### (3) 令和5年の学校運営協議会の委員選定について

#### 6 会議のまとめ

- ・課題研究発表や、その活動については高評価であったことを工業科職員に伝え、今後もより良くなるように継続して指導にあたる。
- ・生徒が活発に意見を述べるができるように指導してきているが、まだまだ改善の余地がある。来年度の学校運営計画の中に入れ、達成目標を設定し評価をしていただく。